

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-044052

(43)Date of publication of application : 18.02.1994

(51)Int.Cl. G06F 9/00  
G06F 9/00  
G06F 1/00

(21)Application number : 04-195741

(71)Applicant : NEC CORP  
NEC SOFTWARE LTD

(22)Date of filing : 23.07.1992

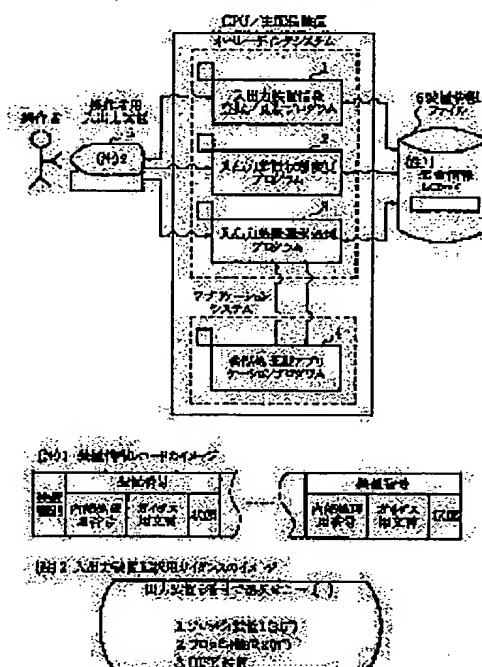
(72)Inventor : UNO EMIKO  
YAMAGUCHI SHOICHIRO

## (54) INTERACTIVE SELECTION PROCESSING SYSTEM FOR COMPUTER INPUT/OUTPUT DEVICE

## (57)Abstract:

PURPOSE: To make a system easy for a user to operate, and to efficiently develop and maintain an application program in the system to select the input/output device of a computer in an interactive form.

CONSTITUTION: This selection processing system is constituted of an input/output device information registering/updating program 1 which registers the connection information of the input/output device and information required for interactive input to a device information file 6 at the time of system generation, an input/output device state changing program 2 which registers the information of the input/output device separated from the system because of a fault or the input of a command by an operator to the device information file, and an input/output device selection processing program 3 which generates and outputs the guidance for selection of the input/output device on the basis of the contents read out of the device information file, and inputs a selected result.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the  
examiner's decision of rejection or application  
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of  
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-44052

(43)公開日 平成6年(1994)2月18日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
G 0 6 F 9/00  
1/00

識別記号 庁内整理番号  
3 4 0 7927-5B  
3 2 0 B 7927-5B  
3 7 0 G 7165-5B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-195741

(22)出願日 平成4年(1992)7月23日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7番1号

(71)出願人 000232092

日本電気ソフトウェア株式会社  
東京都港区高輪2丁目17番11号

(72)発明者 宇野 恵美子

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式  
会社内

(72)発明者 山口 正一郎

東京都港区高輪二丁目17番11号日本電気ソ  
フトウェア株式会社内

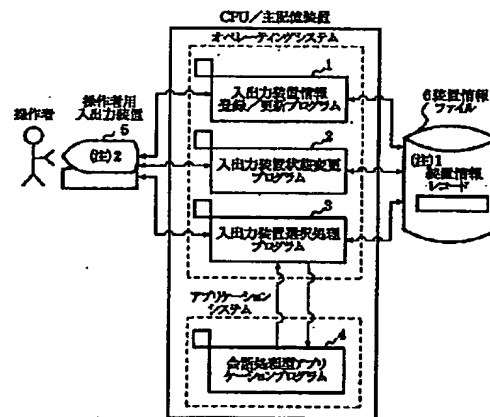
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 コンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式

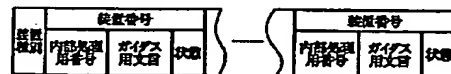
(57)【要約】

【目的】 コンピュータの入出力装置を対話形式で選択する方式において利用者が操作しやすく、アプリケーションプログラムを効率良く開発/保守できるようにする。

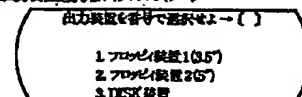
【構成】 システム生成時に入出力装置の接続情報と対話型入力に必要な情報を装置情報ファイル6に登録する入出力装置情報登録/更新プログラム1、障害やオペレータのコマンド入力によりシステムから切離された入出力装置の情報を装置情報ファイルに登録する入出力装置状態変更プログラム2、及び装置情報ファイルから読取った内容を基に入出力装置の選択用ガイダンスを生成出力し、選択結果を入力する入出力装置選択処理プログラム3から構成される。



(図1) 装置情報レコードのイメージ



(図2) 入出力装置選択用ガイダンスのイメージ



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータのユーティリティプログラムやアプリケーションプログラムで入出力装置の指定をコンソール等から対話形式で入力する場合、システム生成時に入出力装置の接続情報と対話型入力に必要な情報をファイルに登録しておき、対話型入力の際に前記ファイルに登録しておいた情報を基に入力案内ガイダンスをコンソール等に編集・出力し、入力装置を選択することを特徴とするコンピュータ装置の対話型選択処理方式。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、コンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式に関し、特にコンピュータの入出力装置を選択する場合のコンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、コンピュータの入出力装置を対話形式で人間に選択させる処理方式では

(1) 何が接続されているかというガイダンスを出力せずコンピュータ内部で扱う装置番号をコンソール等から人間に直接入力させる。

(2) コンピュータに接続された入出力装置の情報と一般のコンピュータ利用者にわかりやすいガイダンスをユーティリティプログラムやアプリケーションプログラムの内部に固定的に持ち、このガイダンスをコンソール等に出して人間に選択させる形で入力させる方式が一般的であった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来の処理方式では

(1) 何が接続されているかというようなガイダンスをコンソール等に出し、直接コンピュータ内部で扱う装置番号を入力される方式では“接続装置は何が接続されていてどれが使えるか”ということと“コンピュータ内部で扱う装置番号の形式”を利用者がわかっていけばならず一般の利用者には使いづらい。

(2) コンピュータに接続された入出力装置の情報と一般のコンピュータ利用者にわかりやすいガイダンスをユーティリティプログラムやアプリケーションプログラムの内部に固定的に持つ方式では、コンピュータに接続する入出力装置の内容に合わせプログラムを変更しなければならない。という欠点があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のコンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式は、コンピュータの入出力装置を対話形式で入力する場合、システム生成時に入出力装置の接続情報と対話型入力に必要な情報を装置情報ファイルに登録する機能。障害やオペレータのコマンド入力によりシステムから切離された入出力装置の情報を装置情報ファイルに登録する機能、入力装置力に対話

形式で人間に選択させる際、装置情報ファイルから接続された入出力装置の情報を読出してこれをもとに選択のためのガイダンスを生成してコンソール等に出力する機能。また、選択結果を入力する機能および入力された値をチェックする機能。を有する。

## 【0005】

【実施例】 次に、本発明のコンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式の実施例について図面を参照して説明する。

10 【0006】 図1は本発明のコンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式の一実施例の処理の一例を示す処理概要図である。入出力装置情報登録/更新プログラム1はシステム生成/変更時に、入出力装置の接続情報と対話型入力に必要な情報を装置情報ファイル6に登録する。また、システム変更時に装置情報ファイル6を更新する。会話処理型アプリケーションプログラム4は入出力装置を操作者に選択させる必要がある場合、装置種別をパラメータとして入出力装置選択処理プログラム3を呼出す。入出力装置選択プログラム3は装置情報ファイル6の図1(注)1に示されるようなイメージの装置情報レコードを読み出し、この内容を基に図1の(注)2に示すような入出力装置選択用ガイダンスを生成し操作者用入出力装置5に出力する。入出力装置の選択結果を操作者が操作者用入出力装置5から入力すると、入出力装置選択処理プログラム3は入力チェック後選択された装置番号(内部処理用)を会話処理型アプリケーションプログラム4に通知し会話処理型アプリケーションプログラム4に戻る。入出力装置状態変更プログラム2は装置障害や切離しコマンド等により入出力装置が使用できない状態になった場合に装置情報レコードの状態値を変更する。入出力装置選択処理プログラム3ではこの状態値を参照し、ガイダンス生成および入力時に使用できない装置を選択させないようにする。

## 【0007】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明のコンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式は、コンピュータの入出力装置の接続情報をガイダンス情報も含め装置情報ファイルで一完管理することにより、

(1) 入出力装置選択のヒューマン・マシンインタフェースが統一されるため操作性が向上する。

(2) 入出力装置選択のための処理や装置情報をアプリケーションプログラムに持たなくて良いため、アプリケーションプログラムの開発/保守コストが下がるという効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

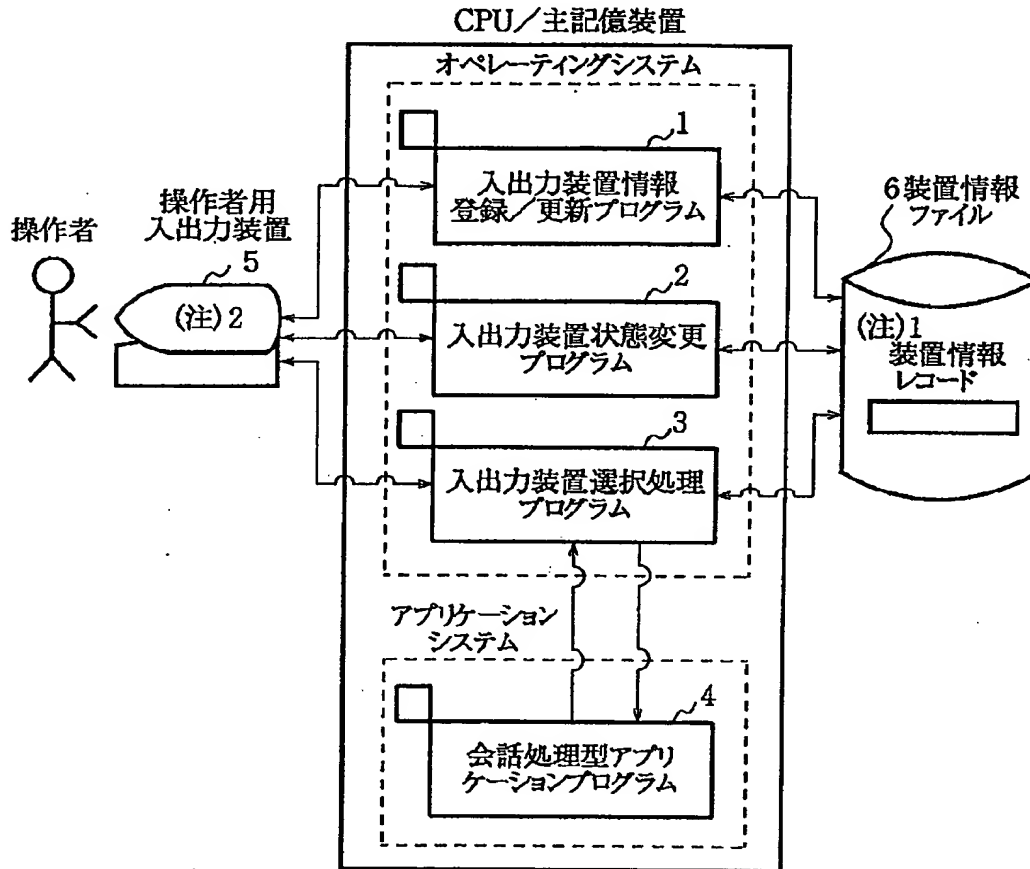
【図1】 本発明のコンピュータ入出力装置の対話型選択処理方式の一実施例の処理の一例を示す処理概要図である。

## 【符号の説明】

1 入出力装置情報登録/更新プログラム

- 2 入出力装置状態変更プログラム  
 3 入出力装置選択処理プログラム  
 4 会話処理型アプリケーションプログラム  
 5 操作者用入出力装置  
 6 装置情報ファイル

【図1】



(注)1 装置情報レコードのイメージ

装置種別	装置番号		
	内部処理用番号	ガイダス用文言	状態

(注)2 入出力装置選択用ガイダスのイメージ

出力装置を番号で選択せよ → [ ]

1. フロッピー装置1(3.5")  
 2. フロッピー装置2(5")  
 3. DISK装置